

野生鳥獣による農作物被害の概要（令和元年度）

「鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律」に基づき、県内の野生鳥獣による農作物被害状況を取りまとめました。

- 令和元年度の野生鳥獣による被害金額は、約4億円で、前年度に比べ約3千万円増加（対前年8%増）。
- 被害金額上位は、シカ、カラス、クマ、ハクビシン、イノシシの順。
- 鳥類による被害金額は、約7千5百万円で、果樹が61%（約4千6百万円）と最も多く、次いでイネ19%、野菜14%の順。
- 獣類による被害金額は、約3億3千万円で、飼料作物が30%（約9千7百万円）と最も多く、次いでイネが27%、果樹が23%の順。

